



第2回日インドネシア物流WG -デジタル技術を活用した高度な物流体系の構築-

運輸総合研究所は、経済安全保障環境が厳しさを増す中、グローバル物流ネットワークの強靱化に向けた活動の一環として、インドネシア共和国インフラ地域開発担当調整府と共同で、産学官のハイレベルな枠組みである「日インドネシア物流ワーキンググループ」を立ち上げ、本年5月8日にジャカルタで第1回会合を開催しました。第2回となる今回は、デジタル化をテーマに、引き続き効率的な物流の構築に向けて、重要課題に対するアプローチ及び解決方法について議論を行い、政策提言を行います。

プログラム

開会挨拶



宿利 正史

運輸総合研究所
会長



Odo R. M. Manuhutu

インドネシア共和国
インフラ・地域開発担当
次官

有識者発表



大森 孝生

運輸総合研究所
特任研究員



調整中

インドネシア側選定



安藤 恒夫

日本通運株式会社
常務執行役員
国内定期船部・港湾運送部担当
兼 フォワーディング
ビジネスユニット長
(国際海運・港湾運送・海外引越・
内航海運・国際航空・国内航空)



調整中

インドネシア側選定

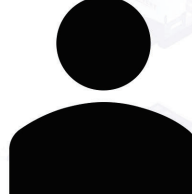
議論

閉会挨拶



佐々木 良

運輸総合研究所
専務理事、
運輸総合研究所
アセアン・インド
地域事務所長



調整中

インドネシア運輸省代表者

日時: 2026年11月5日(木)
15:30 (日本時間)
13:30 (ジャカルタ時間)

言語: オンラインにて同時配信
日・英・インドネシア語同時通訳

詳細 & 登録
はこちら



【オンライン】